



兵庫県

# 丹波地域とJR柏原駅南用地について

～大阪・神戸からおよそ1時間、里山に囲まれた2.4haの駅前の県有未利用地～

令和6年11月  
兵庫県丹波県民局

(参考) ひょうごチャンネル動画

[https://hyogo-ch.jp/vdi/tanba/?doing\\_wp\\_cron=1730861224.3534350395202636718750](https://hyogo-ch.jp/vdi/tanba/?doing_wp_cron=1730861224.3534350395202636718750)

## 丹波地域（丹波の森づくり）

自然と人と文化が調和した地域を「丹波の森」と呼び、大切に守り育てていく。  
丹波地域の住民は、この思いを「丹波の森宣言」に込め、実践してきた。  
その結果が、日本の原風景といわれ、全国に誇れるふるさと丹波の姿につながっている。



自然美



森の文化



際だった風景



いのちを育む水

## 美しく懐かしい風景

自然と人と文化が調和する丹波地域には、日本の原風景が広がります。

### ● 四季折々輝くいのち



### ● 地域を抱く山々



### ● 多様な生き物を育む清らかな川



### ● 古来より朝廷などに献上された名産品



ぶらり丹波路フォトギャラリー：<https://www.burari-tambaji.com/gallery/>

## 美しく懐かしい風景

歴史と新しい魅力がまちに蓄積されています。

### ● 中世は京の荘園、近世は城下町として栄えた



### ● 丹波焼、丹波布、丹波杜氏による酒づくり



### ● 恐竜が生きた大地



ぶらり丹波路フォトギャラリー：<https://www.burari-tambaji.com/gallery/>

## 美しく懐かしい風景

ひょうごの景観ビューポイント 丹波エリア

- 河原町妻入り商家の古いまちなみ



- 丹波の森公苑の芝生広場と山々



- 大ケヤキがつくる自然の橋「木の根橋」



- 地域を抱く丹波の山々



- 篠山川に架かる吊り橋



- 農村家屋の残る福住のまちなみ

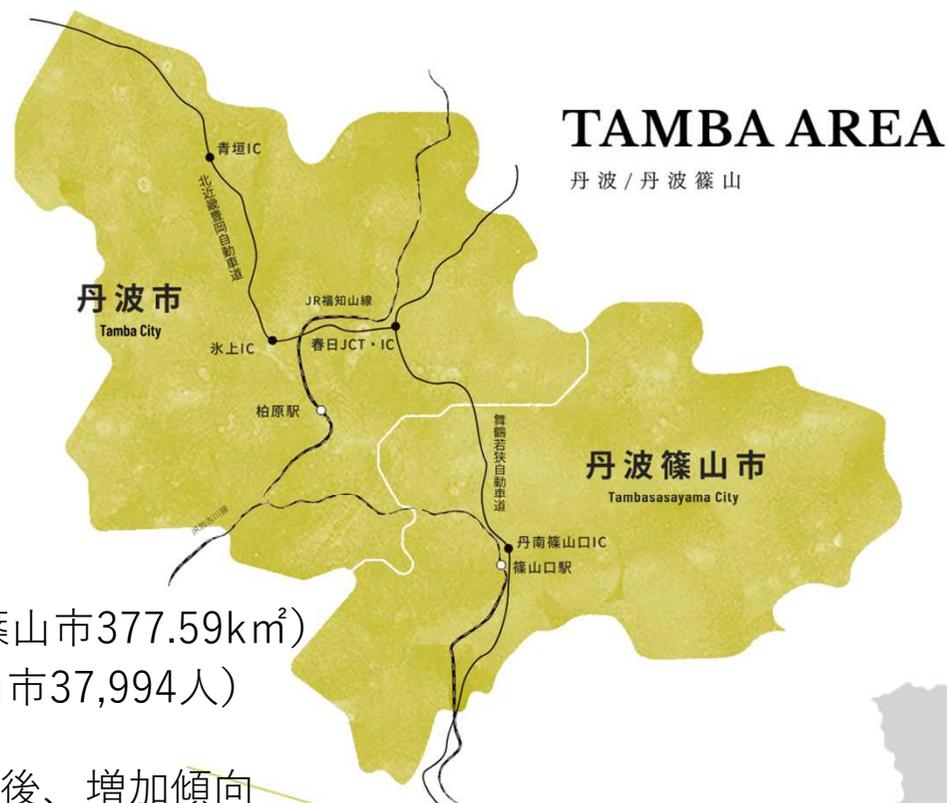


ひょうごの景観ビューポイント : <https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks20/viewpoint150.html>

## 丹波地域の区域・位置・人口

大阪・神戸から特急が停車する柏原駅へわずか1時間10分、車利用で約1時間

- 丹波地域 大阪・神戸都心部へのアクセス良好な地域に、豊かな里山があります



### 【丹波地域の基本情報】

- 面積：870.80km<sup>2</sup>（丹波市493.21km<sup>2</sup>、丹波篠山市377.59km<sup>2</sup>）
- 人口：96,555人（丹波市58,561人、丹波篠山市37,994人）  
令和6年7月現在  
※移住相談及び移住者数はコロナ禍以後、増加傾向
- 産業：総生産額4,602億円※前年度比2.8%増（令和3年度）
- 農業：黒大豆、大納言小豆、山の芋、栗などのブランド農産物が豊富
- 製造業：289事業所、従業者数11,497人、製造品出荷額5,122億円(令和3年度)
- 観光：入込数は約499万人/年(9割以上が日帰り客)、宿泊は約19万人(令和5年度)



## 丹波の森づくり（丹波の森宣言）

人と自然と文化の調和した地域づくり

### 丹波の森宣言



昭和63年、「さわやか県土シンポジウム」で「丹波の森宣言」を採択  
丹波地域21,616世帯が同意署名



丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住民共有の財産であって、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。

今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これらを生かした「丹波の森」づくりを、次のように進めることを宣言します。

- 宣言1 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- 宣言2 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- 宣言3 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。
- 宣言4 丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

## 丹波の森づくり（丹波の森創造プラン）と成果

「丹波の森宣言」に基づき、今も生活者の視点から「“もりびと”（森づくりの担い手）」をイメージし、それらを実現する取り組みを進めています。

### ● 宣言1 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。

- ・丹波らしい土地利用を進める
- ・山(森林)を守り育てる
- ・川や水辺を守り育てる
- ・農地を守り育てる
- ・野生動植物と共生する(生物多様性を育む)



里山づくり活動

### ● 宣言2 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。

- ・丹波らしい景観形成を進める
- ・公園を活かし、自然を体感する
- ・森(丹波地域)を巡る道を活かし、景観を楽しむ
- ・花を飾り、もてなす



たんばオープンガーデン

### ● 宣言3 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。

- ・文化と歴史を大切にし、その文化価値を内外に広く発信
- ・恐竜が生きた大地で暮らす
- ・森の中で芸術・文化・スポーツを楽しむ



街角コンサート

### ● 宣言4 丹波の素朴さと人情を大切にし、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

- ・“もりびと”になって、ふるさとを元気にする
- ・丹波ブランドを育成し、産業を振興する
- ・丹波ファンを拡大し交流を促進する
- ・大交流時代(国際化)に対応する
- ・安全安心な地域をつくる
- ・集落に暮らし、未来につなぐ



子供たちの自然体験学習

## 丹波2050地域ビジョン（基本理念と地域社会像）

2050年を展望して望ましい地域の将来を描き、実現に向けた道筋、方向性を示しています。

### ● 地域ビジョンとは

兵庫県が政策を進める際の基本指針となるもので、分野ごとに施策の方向性や目標を示す様々なプランを定めています。

### ● 基本理念

人と技術の力を活かした、自然の中での多彩な暮らしの  
カタチの創造・発信

－「人」を創り、「森」を（守り）活かし、新たな「価値」共創に挑む－

### ● 2050年の地域社会像

人：最大の資源。人の創造力・想像力が地域を変える源に

技術：人口減少や環境制約の克服、生産性の向上に大きく貢献

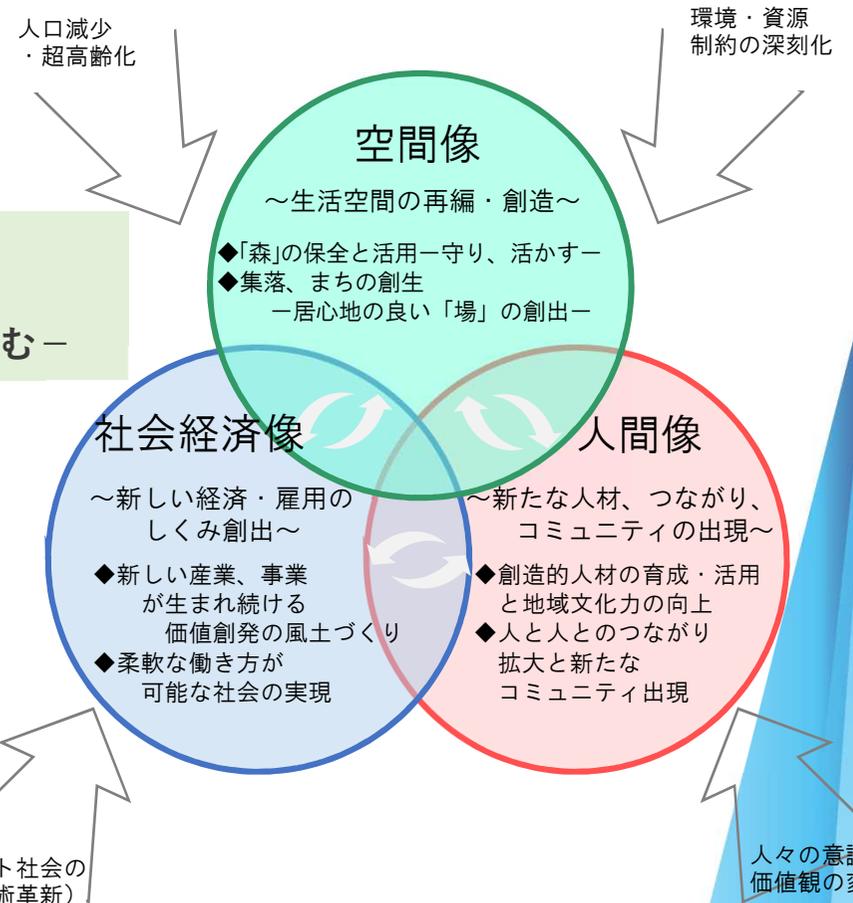
「森」：守るべき存在であるとともに、暮らしを豊かにするために  
活用すべき貴重な資源

価値：丹波らしいオンリーワンの魅力(固有価値)の創出、世界に  
広がる持続可能な自律分散型居住モデル(普遍的価値)の創造

共創：目標を共有(「共感」)する人たちが、ともに学び、ともに  
成長し、ともに創る

超スマート社会の  
到来(技術革新)

人々の意識・  
価値観の変化



# 地域ビジョンのシンボルプロジェクト（まちの拠点プロジェクト）

まちの拠点プロジェクトの実現に向け、令和5年3月『柏原交流ゾーン整備基本構想』策定

## ● 『柏原交流ゾーン整備基本構想』における柏原交流ゾーンの各エリアコンセプト

### ① JR柏原駅南用地

- 21世紀社会に相応しい新しい働き方、暮らし方が可能な空間
- 丹波市、丹波地域の玄関口であり、その魅力を発信するショーケース
- 丹波の木のぬくもり、木のある暮らしを体感する場

### ② 丹波の森公苑

- 新しい丹波の暮らしをデザインする知識創造拠点
- 新しい余暇・スポーツの楽しみ方を提案する余暇創造拠点
- 里山の営みを五感で感じることができる、都市と自然をつなぐ空間

### ③ 城下町地区

- 誰もが自分の居場所のある、安らぎに満ちたまち、柏原
- 賑わいが戻り、絶えずどこかで人の話し声が聞こえるまち、柏原
- 街中で小さな挑戦ができるまち、柏原



## ① JR柏原駅南用地の全景（柏原駅から丹波の森公園を望む）

- ・ 柏原川の堤には桜が咲き、蛍が棲息しています。
- ・ JR柏原駅から、丹波の森公園グラウンドを経て丹波の森公園につながる起点となっています。



## ① JR柏原駅南用地からの景色

- ・ JR柏原駅に隣接しています。
- ・ 柏原駅南用地から、丹波の森や丹波の山並み景観を眺望できます。



## 丹波の森公園と城下町地区について

### ②丹波の森公園

- ホールや生活創造センター、グラウンド、テニスコート等を擁し、県民の文化、スポーツ、余暇活動の場として賑わっています。年間入苑者数は16.7万人（令和5年度）に及びます。
- 「丹波の森大学」等が開講されるなど、生涯学習の拠点として利用されています。
- 「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば」は、2024年度に30周年を迎える歴史ある音楽祭です。

#### 丹波の森公園の主な施設



### ③城下町地区（旧柏原町中心市街地）

- 柏原藩陣屋跡や柏原八幡宮等の歴史的建造物が現存し、城下町の風情を色濃く残すエリア。
- 国・県の出先機関の行政施設（税務署、裁判所、県民局等）や文化・学校施設等が集積する丹波地域、丹波市の中心拠点の1つ。
- 住民と行政、(株)まちづくり柏原（TMO）等が連携し、中心市街地活性化のまちづくりを推進。

